

二、講堂の改装完成

瀬谷 たまたま芦屋に住みましてから長くなるのですが、丁度終戦後、芦高にくるまでは山手中学校にいろいろ関係していたのですが、山手中学は校舎のない学校でありまして、それから願を出してモデルスクールになろうという考えから建設が始つて、いろいろの問題がふえるに従つて、芦屋市民全体は教育には非常に御熱心である。また芦屋の土地柄これが非常にふさわしいという体験を得て、高校へ参つたのですが、はからずも岡さんの次に会長になりました。もう次山だと思つていたのですが、子供がお世話になつてゐるのだからというのでやつたわけです。たまたま講堂が飛んで雨ざらしであるので、校長室も雨が降るとしみが出来ていたような次第で、何とかしなければいかんというので、丁度岡さんの時代に始まりまして、年内にやらねば卒業式に間にあわないので間に合わせたいというので、これも嘘ついたことになるのですが、いろいろ苦心した結果、県費に地元から出す金があるんだというので、寄附をもらうことにしたのですが、現金がなかったのです。それを何とかしようというので、うまい

口実を設けて、三学期に入る金を一寸借りまして、皆様の御苦心のあとが、あの講堂となつた訳です。講堂が出来れば、ピアノということになり、同じ買うならよいものを買おうということに話が出来て、あのヤマハのフルコンサートの購入となつた訳です。それから夜の学校の設備、食堂の問題ですが、どうも夜間生の食事が困るというので食堂の設備をしたらということになり、それをやりました。芦屋は父兄が皆非常に御熱心で芦屋らしく、子供のためならと金を惜しまぬという処があり、だんだんと充実して行つたことを嬉しく思っています。堀内 最後に今後の芦高の教育についての御助言をしていただくことになつていたので、すでに予定の時間も過ぎて、晩餐の用意を致してございますので、その席で諸先生も御一緒にお伴させていただきますから、皆様も打ちくつろいで、その間に先生方へもいろいろと御感想なり、学校のあり方についての御希望なりを、聞かせていただきたいと思います。ただ私ども関係を致しておりますものとしましては、今日までいろいろと歴代にわたつて御苦心下さいました皆様の御努力に對して、私どもが考えておりますことは、

今日県下におきましても、本校は、成績順位としても高位にあり。かつまた運動方面にもお話の如く、野球のみならず、他の部も相当の上位にございます。学問と申しますか、勉強の方は前校長、学校長、諸先生方がいろいろと苦心をして下さいますので、私の父兄としましては、先輩諸氏の志を受けつぎまして、出来るだけ設備に力を注ぎ、特に体位の向上につきましては何か、より高い水準の環境に在校生をおきたい。年々入学する五百人の生徒諸君を出来るだけ高い水準の環境で教育してやりたいという気持で、いろいろと御相談をして、十五周年記念事業に育友会としてもある計画しています。どうぞ今後ともよろしく御指導をお願い致します。まだ緒についたばかりで発表の時までに至つておりませんが、どうぞ今後ともよろしく御指導をお願いいたします。

昭和三十年八月二十一日  
本校 校長室

鍛えられたなあ  
――二回生座談会――

出席者

卒業生

- 逸見 益 一(二回生)
- 荒巻 司 郎(二回生)
- 橋本 健 男(二回生)
- 川村 淳 一(二回生)
- 藤下 典 之(二回生)
- 雨宮 正 二(二回生)
- 木下 篤(二回生)
- 富岡 次 郎(二回生)
- 三宅 博(二回生)
- 松井 克 好(二回生)

職員

- 飯野 校長 福田 政次郎
- 神保 永夫 金坂 豊

入学の頃(岩園時代)

金坂 まず、年次を追うて、昭和十五年の思い出話から始めましょう。  
雨宮 入学式はどこでやりました。  
橋本 岩園小学校のグラウンドでやったのじやなかったかな。  
神保 いや、岩園小学校の講堂です。講堂で山本校長が、以下何名、入学を許可すと言つたのを覚えてゐる。  
荒巻 入学したのは、何人ぐらいだったかなあ。  
逸見 二百五十名でした。

雨宮 いや、一クラス五十五名だったから全部で二百七十五名でしたらう。  
神保 一割くらい余計に採りましたね。  
校長 その時のクラス写真、ありますか。  
雨宮 クラス写真なんか撮っていませんね  
逸見 あの時分、生徒が写真機など持っていると思つたのですよ。

神保 校長先生が写真が巧くて、よく職員や生徒の写真を取られたが。  
雨宮 個人の写真はありますが、まとまつてクラス写真を撮つた事はなかったですね。  
橋本 入学者発表の日を覚えてますか。

荒巻 三月二十五日だったかな。

雨宮 発表がおくられてね。三時発表の手定が暗くなってからやっとな発表になった。

橋本 父兄がもめたね。

逸見 インチキだとか言ってるね。

雨宮 入学率は五人に四人ぐらいで、ほとんど皆入学出来たね。

金坂 入学後暫くは、よく山へ登ったね。

神保 先生が足りないで、時間があいて困るものだから、よく山へ登らせた。

逸見 あの頃は、遠足じゃなかった。行軍と言ったね。教練ではしほられたね。

雨宮 一年から、教練ではしほられたが、銃は持たなかったね。

逸見 何だか、木刀みたいなのを、持っていたじゃないか。

橋本 あれば武道だった。教練で銃を持っていたのは三年ぐらいいらかった。

雨宮 一年では、何をやったかな。

荒巻 まず「敬礼」。それから「廻れ右」だとか、「右向け右」だとか。

橋本 教練は井上先生だったね。井上先生は大体柔道の先生だったが、中尉さんを教練もやっていた。あの頃、剣道は誰が教えていた。

神保 剣道も井上先生がやっていたらね。

福田 岩園校の西の段々になった運動場はいつ頃から使っていましたか。

雨宮 二段まで、早くから使っていましたね。五月頃だったでしょう。

金坂 五月始めです。僕は五月十五日に赴任して、段々の二段目で新形式をしましたから。

雨宮 ええ、そうです。

富岡 あの頃は、朝礼にラッパを鳴らしたね。

雨宮 朝礼におくられた者は、道路の所に立たされた。

橋本 あの頃、教頭はなかったのですか。

逸見 井上先生がいたんだらう。

神保 井上先生が教頭代理だった。

雨宮 始めは、六人か七人しか先生がいなかった。事務を入れて八人だったかな。だけど、あの頃の先生はよく怒ったね。

逸見 宿題が出来ないと廊下に立たされたものだ。

神保 何でも一中に負けないような学校にしようというのが、最初の目標だったからな。

校長 僕が四中の創設にあたった時、芦中

を見に来たが、その時、これはなかなか硬教

育だという感じを受けた。

逸見 運動場が出来るまで、遊び場所に困ったね。

神保 岩園小学校側は、中学生が小学校の運動場に出てくると言うし、道路で遊んでいたら、六鏡荘行のバス会社から危険だといって投書が来るし。

逸見 あの頃、よくターザンがはやっとな。学校の道路の傍にやぶがあったね。綱を木の枝に引掛けて、それによって川を飛び越えるのだ。

橋本 川のそばに植木屋があって、その植木に、さわったとか、さわらなかつたとか、よく文句を言われたよ。

神保 それで、市の方へ、やいやい言ってる川西側の段々になった空地を整理し、橋を掛けてもらって、やっとな運動場が出来た。始め、下二段を使用して、あとで、上の段も使えるようになった。

三宅 あの頃、英語の時間が多かったですね。

福田 何時間ぐらいでした。

神保 一週七、八時間ぐらいだったでしょう。

富岡 英語が少なくなったのはいつ頃からです。

神保 勤労動員が始まった頃からです。

富岡 あの頃は、補習なんかなかったね。

逸見 補習はまだなかったが、先生の欠勤があると代りの先生が来る。それも自習じゃなくて、自分の学科の授業をする。伊藤先生に、習字、作文、漢文、国語と、一日中教えられた事があった。

松井 教練の時間は、どれくらいありました。

金坂 一年の時は少なかつたでしょう。

雨宮 教練と名のつく時間は少なかつたが、教練によく似た体操を、随分やらされたね。

校長 恐らく、教練二時間、体操三時間、武道二時間だったらう。

橋本 行軍はえらかつたね。

金坂 六甲山に最初登ったのはいつ頃でした。

橋本 行軍として、たしか銃を持って最高峰へ登ったはずですよ。だから、三年になってからです。

雨宮 芦女のあたりまでは弁当を持って、よく行ったね。

松井 それから、ロックガーデンや、苦楽園尾根から奥池へ行きましたね。

金坂 宿泊訓練があったのもその頃でした。

逸見 そうそう。摩耶山へ行ったの、いつだった。

藤下 あれは、僕が二年の時の七月です。

金坂 何泊したかな。

橋本 二泊ですよ。

藤下 朝早く起きて道路の掃除をしたね。

神保 試験会もやった。要所要所に先生がかくれている、その関門を通らねばならないようになっていた。

橋本 仲尾先生が、谷へ落っこちたね。

荒巻 一年の時は、水泳はどうだった。

逸見 一年の時はやらなかつたよ。

雨宮 いや、やりました。香櫨園に一年の時と二年の時、行った。

金坂 新谷先生と馬鹿話をしながら、風川堤を歩いたのを覚えている。

雨宮 歴史の先生に佐々木という痛快な先生がいて、水へ入る時「者ども、突込めっ」て言ったね。

神保 遠泳、やったでしょう。

三宅 あれは僕等が二年の時でした。

神保 校内相撲大会、覚えてますか。

雨宮 藤田が強かった。

金坂 岩園校の東の土地の開墾の時の思い出話。

福田 あれは藤田先生が来られてからだから、昭和十六年ですな。

松井 草を焼こうと思つて火をつけたらどんどん燃えて行って、大さわぎになった事がある。あの時は逃げたよ。

金坂 岩園校の先生が先に草焼きで火事をやりかけて、今度はうちがやった。

橋本 あれは夏でしたね。

金坂 岩園校がやったのが夏、うちがやったのは秋だった。

神保 里芋、黒豆、甘藷をつくった。黒豆は置いとくと黒くなるという事を始めて知った。

荒巻 あの頃はまだ食糧事情はそう悪くなかつたですね。

雨宮 パンなんか町に売ってました。

富岡 だけど、月曜日なんか、代用食を持って来いなどと言ったね。

橋本 昭和十六年最終頃は学校ではパンを買えなくなつた。

雨宮 開墾では、福田先生はよく働いてお

られましたね。

福田 藤田先生がグライターの講習に行くよりになってから、僕があとを引受けた。

三宅 鉄を持つ時、銃をかつく時のように、一二三でかつぎました。

逸見 しかし、あのさつまいも、何処へ行ったんや。おれ、あんまり食わなかったけどなあ。(笑声)

金坂 芦屋の市制実施の時はどうしましたかね。

橋本 旗行列をしましたよ。

雨宮 あの頃、とにかく私達が一番叩き込まれたのは、芦中生としての誇りを持ってという事でした。一日に五回ぐらいい言われた。富岡 一中に対する対抗意識が強かったんですね。

金坂 校友会ですがね、あれは一年の時かあったかな。

橋本 会費は取っていたが積極的な活動はありませんでした。

荒巻 まだ部はなかった。部が出来たのは二年からです。

雨宮 僕は、二年から水泳をやりましたよ。奥池へ行って泳いだ。

藤下 甲子園のプールじゃなかったんです

か。

雨宮 いや。あれはもっと後です。

金坂 昭和十六年から、校友会は、報国団に切りかえられましたね。

橋本 新体制などと、やかましくってね。

神保 君達の入学試験は、口答試験だったね。

逸見 口答試験で一番面白かったのは「家で手伝いをしていますか」と言うんだ。そこで「雨戸を毎日あけています」と答えてね。

雨宮 メンタルテストでしたね。

富岡 試験日には、一中の先生が応援に来ていました。

逸見 あの時、神保先生は試験官じゃなかったですか。

神保 いや、僕は二回目からです。第一回の入学試験は、全部よその先生でやった。

荒巻 あの頃の入学者は、芦屋の人が非常に多かった。

川村 僕は神戸からですよ。

雨宮 小学校で、芦中が出来るから、よへ行ったらいかなんと言ってるね。

神保 稲道村の政策だったんでしょ。金坂 第一回生の服装は、半ズボンでした

雨宮 そうです。しかし、入学した時は、丸い帽子だけ買った。制服はすつとおくれましたね。

金坂 五月十五日に僕が着任した時には、もう半ズボンの制服を着ていたよ。

三宅 僕達二回生は、服をすぐもらいましたよ。

荒巻 半ズボンは一年中でしたね。冬も半ズボンでしたね。最初の服装の写真、ありませんか。

神保 あるはずですよ。

川村 私たち二回生から長ズボン、戦闘帽になったから、半ズボンは一年だけでした。

逸見 あの頃は、映画も行ったらいかなん事になつた。それで、先生は行つとって、僕等が入つるとつかまえるんやからな。

(笑声)

福田 職員室に入る時、「何年何組、だれそれ、何々先生に用があつてまいりました。」と言つて入つたものですね。

逸見 声が小さかったらやり直しました。

三宅 先生の名前が出てこないんだよ。あわてるよね。あだ名ばかり出て来て。(笑声)

#### 打出の頃

金坂 昭和十七年の大きな出来事はどんなことでした。

藤下 グライダーですよ。

三宅 飛んだと思つたら落ちたけどね。

神保 では、このあたりで、一人ずつ岩園時代の思い出を言ってもらいましょうか。川村君から順番に。

川村 体操の時間よくしぼられました。

三宅 あの赤いすきをかけてね。

川村 あの赤いすきは、何かいわれがあるんですよ。

三宅 井上先生ね。あの先生、級長には良く出来たら八十五点くれて、普通の者やと、なんぼよく出来ても八十点しかくれませんでしたよ。

雨宮 それから、借住居で肩身がせまかったことですね。

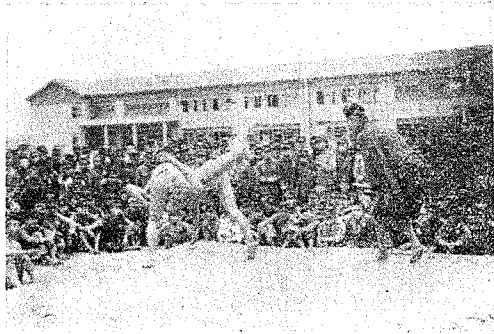
藤下 小学生が変な歌をうたってましたよ。

福田 どんな歌。言つてみてごらん。

藤下 芦屋中学借校舎、机にもたれてしらみとり。

橋本 試験と宿題が多かったよ。

逸見 あの頃、中間考査と期末考査と平均して通知簿につけていたかな。



打出校舎における相撲大会

橋本 金坂先生にチョークで頭にまるを書かれたね。教室であられて、答えられないと、「立つとれ」と来る。もう一度あてられて、今度は出来ないで、「出て参れ」とやられる、仕方がないから教室の所へ出てゆくと、耳をつかんで、チョークで頭へグルグルとまるを書かれて、ごつんだ。

逸見 あれは痛かった。それで僕は今から頭が薄くなったんだよ。

校長 十八年の武道大会では、芦中が非常に活躍したように記憶して居るが、剣道は優勝したんじゃないか。

木下 それなら、山本哲郎だろう。僕は武徳殿へ初段の試験を受けに行ったが、一級を受けていなかったで、型も出来たし、勝負にも勝つたのに、落ちた。

金坂 昭和十八年には、健民修練をやりましたね。

橋本 八月一日から三十一日まで、一月やられたので覚えてます。ツベルクリン反応の陽転者と、体の弱い者が、打出の校舎の作法室で宿泊して、体操やら遠足やら、やったね。

金坂 十七年からは、水泳も打出の浜でやりましたね。

雨宮 学校から裸身になって行った。  
藤下 十八年からは、寒稽古をやりましたね。朝早く、芦屋の浜を駆足した。  
三宅 あの頃は、一期生がやかましかったね。こわかったですよ。  
金坂 海軍訓練に呉へ行ったのはいつでした。  
富岡 十八年の夏でしたらう。  
金坂 何名くらい行きました。  
木下 十四、五名行ったでしょう。急降下爆撃なんて、下級生をしげることばかり習って来た。

逸見 話はあるが、校訓を覚えてるか。  
橋本 おぼえていない。特に校訓をと覚えてることなんかなかった。  
富岡 賀実剛健というのがあった。  
橋本 ろん、あれは、あの頃、どこの中学校の校訓にも入っていた文句だ。

福田 創意工夫というのがあったんじゃないか。  
金坂 もう一つ、何かありましたよ。  
橋本 覚えてない。  
川村 山本校長を訪ねた時聞いてみたが、山本先生も覚えておられなかった。  
雨宮 配属将校が来たのも十八年頃です

ね。高松中尉とかいった。  
荒巻 僕等の三年生の頃から、戦時色が濃くなりましたね。  
神保 甲陽高商のグラウンドで演習があった。  
橋本 先生が号令をかけて。  
福田 学級担任が小隊長をやらされた。悪い時だったな。  
神保 二月でしたよ。  
橋本 成績はよくなかったですね。  
神保 おおむね可だったかな。随分悪い評価でしたよ。

三宅 十八年の五月十八日には、マーチンが最初の空襲に来たのを覚えてるよ。  
橋本 あの日は全校緞織登山で、山から下りてみたら空襲の赤旗が出ていた。  
木下 戦時中、体操の時間に、ラグビーをやっていたね。  
雨宮 攻陣球といって、サッカーのボールでラグビーみたいなことをやっていた。ボールも学校に二、三個しかありませんしね。  
木下 攻陣球は、ルールも、新谷先生と平井先生で勝手に作ったものですよ。  
荒巻 まだ野球は全然ありませんでした

ね。  
木下 日東アルミでは、僕等が行ってから生産が上ったと言って、喜んでた。  
雨宮 アルミを削ったな。  
木下 物凄く原始的な方法だった。  
富岡 飛行機の燃料タンクを作るんだが、アルミの板を木の榫で叩いて形を作るんだ。  
木下 平たい所は、ゴムの板で、ベタンペタンと叩いたね。これでは戦争に勝てんと思っただけな。

るまで帰さないんだ。結局、便所へ行くと言っただけで逃げた。  
木下 その頃から、先生の応召も多くなつて、よく芦屋駅へ送りに行ったな。  
神保 登丸先生、井上先生が早かったね。  
校長 勤労動員中に、動員先で空襲に会ったことなかったかね。  
逸見 日東アルミでは一回ありました。  
福田 動員先で死んだ人はありませんでしたね。  
神保 死んだ者はなかったですね。しかし、空襲の時は、煙と焔で、工場がどこにあるのか分らない程だった。第一、乗物がないので、自転車で行きましたよ。

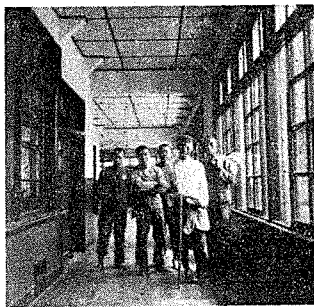
木下 大豆の飯で、もやしが入ったお汁などでした。じゃがいもは豊富でしたね。  
藤下 久保田でもよく飯をごまかしたね。  
校長 一人で二つくらい食べたであらう。  
藤下 それくらいは勿論。  
三宅 警戒警報が鳴ると、防空補助員という腕章を巻いて、各君寮へ行ったね。  
金坂 話はあるが、君達の在校中、運動会は一回だけだったかな。  
木下 一回だけでした。十七年に、西宮の球技場でやりました。  
橋本 あれは、十一月三日でした。スタンドで見えて良かった。  
福田 野球場でしたか。  
木下 いや、野球場の南側の、球技場でし

富岡 ろちの学校から予科練に始めて入ったのは十八年の秋だったね。赤廻と菊森だったかな。皆で予科練の歌をうたって壮行式をした。  
木下 予科練を志願しろと、すすめられたね。  
雨宮 強制的にね。僕等を武道場にかん詰にして置いて、志願せよと言った。志願す



勤 勞 奉 仕

た。  
雨宮 あの頃は、対抗試合は少なかったです。  
木下 陸上競技は灘中と試合をしたことがある。西岡や藤田が活躍した。  
福田 当時の教育のよしあしを話して下さい。  
雨宮 あの頃は、学校の教育方針は、われわれにとっては絶対的なもので、批判する余地がありませんでした。  
逸見 先生はそろっていたと思うがなあ。  
雨宮 僕はそう思わない。生徒の方も粒が揃っていなかったが、先生の方も、もう少し反省の余地があると思いました。  
福田 戦争がひどくなってからは、人がなくて、随分いい加減な先生もあつたからな。  
金坂 卒業式の印象は。  
雨宮 僕等は、卒業式には出てませんよ。  
橋本 やったかなあ。  
逸見 ここにいる者では、僕だけだな、卒業式をやったのは、他の者は皆四年から上級学校に入ってしまった。あれは二十年の三月だった。打出校舎の校庭で、一回生と二回生と一緒に卒業式をした。  
神保 式歌には、「海ゆかば」を歌った



打 出 校 舎 廊 下

# 日本一楽しい高校生活

若き情熱と覇気をもて

## 一戦後卒業生の座談会一

昭和三十年八月二十一日(日曜)	
昭	高
高	函
高	書
高	館
山田 太郎	李谷 舜造
井上 良信	熊谷 俊作
橋本修	三(三回生)
西木 淳	四(四回生)
村上一	道(四回生)
栗田寛	次(四回生)
浅野二	朗(五回生)
吉田邦	男(五回生)
藤岡 榮	(五回生)
岸本昌	弘(紙上参加)
神戸喜	由(六回生)
石崎守	男(六回生)
橋本 満	(六回生)
藤井一	美(六回生)
矢内純	吉(六回生)
森田英	子(七回生)
津田陽	子(七回生)
杉岡八	十一(七回生)
上野 宣	(八回生)
児玉隆	也(自治会長)

### 校舎焼失——終戦

西本 打出の校舎が焼けた時(六月五日)は、私は、三年生で、川西航空へ動員に行っていました。

橋本修 私は四年生で現在の立花金属へ行っていました。芦中の焼けたのは残念でしたが、学籍簿が焼けたと思うと一寸嬉しかったです。(笑)しかし学籍簿だけはもち出したのですね。九月には僕等は海員養成所を借りて宮川と二つに分かれました。十月には本山第一、第二に分かれました。校舎移動の時は宮川小学校から本山まで重い機の運搬で疲れたね。延々五キロの道を蟻の行列のようになつて運びましたよ。あの時の私の坐っていた机には目じるしがあるが、本山からまたこの宮川へもどつて、まだここにありませんよ。あれは打出の焼けた時出した机です。橋本満 打出の校舎の焼けたのは東の新校舎の辺りが最初だった。私は空襲警報でかけつけたが、教十人は来ていました。まだ焼け

ね。  
金坂 勤労働員に附添で行っている先生は参列しなかったから、四五年関係の先生だけでやったのだ。

松井 一年生はいましたらう。

富岡 この頃の高校では処罰ってあるんですか。

金坂 あることはあるよ。

逸見 僕等の時は多かったな。退校はなかったが謹慎処分がよくあった。それから廊下にはよく坐らされた。

富岡 落第が多かつたね。

金坂 一回生など、一年から二年にあがる時、二百五十名中、二十七名が落ちた。十六七名は、いつも落ちた。

三宅 いつ頃から落第が減つたのですか。

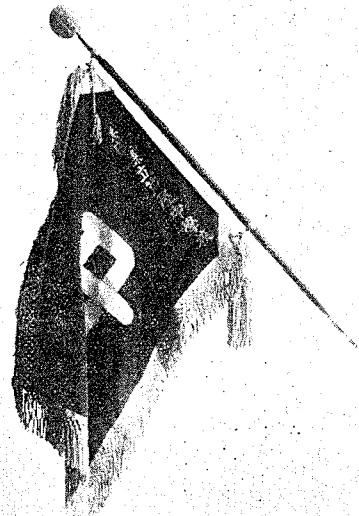
金坂 阪部先生になつてから、ちゃんと減つた。あんまり落第させてはいけなかつた。

橋本 あの頃の先生方はよく試験をされた。今から思うと、何かためになっていますね。

福田 何か芦高の将来に対して、希望なり意見なり、ありましたら。

橋本 別に。

逸見 ではこれで、一応座談会を終わります。



芦中校旗